



市章

広報 えびな

発行・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111(代)/〒243

世帯と人口

昭和58年 2月1日
世帯 25,841世帯 (+23)
人口 85,765人 (+47)
男 44,018人 女 41,747人

自転車公害に歯止め

「自転車の放置防止に関する条例」が可決

二月十日、市議会臨時会で、「海老名市自転車の放置防止に関する条例」が可決されました。この条例は、最近、市内の私鉄、国鉄を合わせた六か所の駅周辺に通勤・通学者などの大量の自転車が放置され、交通や災害時の防災活動に重大な支障となっていることから、これら放置自転車を整理し、安全で快適な市民生活を確保することを目的に定められたものです。条例には、公共施設などの設置者が自転車駐車場の設置に努めることや自転車利用者の責務、自転車放置禁止区域の指定、放置自転車に対する措置などが盛り込まれています。なお、この条例は今年六月一日から施行されます。

便利な乗り物が「公害」とは？

自転車は近距離の移動手段と

二月十日、市議会臨時会で、「海老名市自転車の放置防止に関する条例」が可決されました。この条例は、最近、市内の私鉄、国鉄を合わせた六か所の駅周辺に通勤・通学者などの大量の自転車が放置され、交通や災害時の防災活動に重大な支障となっていることから、これら放置自転車を整理し、安全で快適な市民生活を確保することを目的に定められたものです。条例には、公共施設などの設置者が自転車駐車場の設置に努めることや自転車利用者の責務、自転車放置禁止区域の指定、放置自転車に対する措置などが盛り込まれています。なお、この条例は今年六月一日から施行されます。

「自転車公害」と呼ぶにふさわしい状況になってきました。市では、こうした駅周辺十か所に合計四千四百五十分の収容面積を持つ自転車駐車場を開発し、設置したり、駐車場以外の場所に放置してある自転車の強制撤去を行ない、所定の駐車場に置くよう呼びかけたりしてきましたが、そうしたことだけでは解決できない状況になってきたため、この問題を根本的に解決することを目的に「海老名市自転車の放置防止に関する条例」が定められました。



便利で楽しい自転車だが、上座のサイクリングコースで



海老名駅東口で

施行は6月1日から

公共の場所への放置防止が目的

この条例の目的は、公共の場所、例えば、道路、駅前広場、公園、緑地など公共的に使われる場所に自転車が放置されることを防止し、交通の安全や街の美観を保つと同時に災害時の防災活動が円滑に行えるようにすることです。

それぞれの責務を明記

さて、自転車の放置が行われなくするためのには、市はもちろんのこと、自転車の利用者、自転車小売業者、自転車が大いに駐車する必要があること、公共施設、商業施設、娯楽施設などの設置者、また、鉄道・バス事業者などがそれぞれの立場でそれぞれの責務を果たすこと

施行規則を検討中

この「海老名市自転車の放置防止に関する条例」(通称「自転車条例」)は、今年六月一日から施行されますが、施行にあたっては、この条例の目的を確実に達成するための具体的なことを定めた施行規則を伴うこととなります。

施行規則には、例えば、どの程度の公共施設、商業・娯楽施設の設置者がどの位の自転車駐車場を

指定される放置禁止区域

放置禁止区域は、大量の自転車が放置されて、良好な生活環境が非常に阻害されている公共の場所、また、放置自転車がよって災害時の防災活動が妨げられるおそれのある公共の場所が指定を受けることとなります。

適正な場所への移動を市が指導

放置禁止区域内に放置された自転車、放置しようとする自転車の利用者に対して、市はその自転車を自転車駐車場などへ移動するよう指導します。また、このような放置自転車は市が指定した場所へ市が移動させることもあります。

長期放置は市で保管→処分

移動された自転車は、一定期間市が保管し、その間、市ではその自転車の所有者を捜しますが見つかった場合はその所有者に自転車を引き取り戻すよう通知します。通知を出しても所有者が引き取らない自転車や所有者が見つからない自転車は保管期間終了後、市で処分することになります。また、この場合は市の保管期間が終了した自転車は処分する旨を告示すると同時に、その自転車が放置されていた区域に同様の内容を掲示します。

車場を設置すべきか、また、市が移動した、長期放置自転車、の保管期間はどの位か、さらに処分する旨の告示や掲示は同日間行かなど細かな点が盛り込まれます。現在、その案が作られ、細部を検討中です。

なお、この種の自転車条例は現在、全国の約三十都市で施行されていますが、神奈川県下では海老名市が初めてです。

7オピックス

あれ?クワガタだ

大谷地区で見つかる

二月九日、季節はずれのクワガタ虫が大谷地区で見つかり、話題になつています。

見聞文之さん(大谷三〇一、39歳)の長女、多恵子ちゃん(大谷小三年、9歳)が二月九日午後四時半ごろ、自宅裏の山林で友達と遊んでいたところ、足元の地面を歩いているクワガタを

見つけびっくり。このクワガタは体長七センチ、立派なオスのノキリクワガタ。多恵子ちゃんは動物や昆虫が大好きなのでさっそくプラスチック容器にオガクズを入れ、イチゴや砂糖水を脱脂綿に含ませたものをエサに飼育を始めました。

それにしてもクワガタは通常七月ごろ現れる昆虫で、五か月前も早い出現はびっくりしたところ、クワガタは成虫で落ち葉などの下にもぐって越冬すること



多恵子ちゃんとノキリクワガタ

があり、何らかの理由で季節はずれの時期に出て来る例はあります。このこと。多恵子ちゃんは夏までこのクワガタを飼育して、仲間クワガタがもつて来たら、自然に帰してやるつもりだそうです。

3ん追放に看板

園分寺台3丁目自治会が

園分寺台三丁目自治会(小林保夫会長、百五十五世帯)では、写真のような看板を地区内に設置して、美化推進を呼びかけています。

設置されている場所は、綾瀬市との境になる異国番名一吉町線沿いの歩道敷地内で、この歩道は市内で最も美しく整備されたものとして知られています。



「美化に協力せよ」と小林会長

一月二十五日から三十一日まで、二チイ番名店文化ホールで「はり絵習作展」が開かれました。

この展示会は、市内の主婦を中心に五年前に結成された「はり絵番名教室(河野喜代子講師 園分寺台二丁目)の会員十二人が、五年間の成果を発表した。



すばらしい作品がいっぱい

たもので。このはり絵、ハサミやカッターを使わず、手で和紙をちぎって対象物の雰囲気を作り出すことが重要なポイントだ。

四季の草花、風景品と会場に飾られた六十五点の作品に、来場者から「実物の草花とそっくり」「和紙を使って、遠近感がこんなに出せるとは思わなかった」といった声がかれました。

神森さんが優良賞

農業に使ったトラクターの操作技術を競った五十七年度農業機械化実技交換大会が二月十日、上合泉耕地(水田)で開かれました。

競技は、大型・小型の二種目があり、果下十一市一町から二十五人の選手が出場しました。当市からは農業機械化協会(協理長伊波良良、18歳)を代表して、大型に赤井正純さん(大谷、23歳)、小型に伊波三貴さん



県内から25人の選手が出場

わたしたちが主役

子ども会文化活動発表会

二月十三日、第三回子ども会文化活動発表会が市文化会館で開かれました。この発表会は、市内全地区の子供会(百十四グループ)会員約八千五百人の親ほどと交流



練習の成果を披露

穂本さんらに知事表彰

美化運動推進功労で

県内の美化活動に功績のあった個人、または団体を表彰する昭和五十七年度美化運動推進功労者の表彰式が知事表彰状については二月四日に県庁で、知事感謝状については二月十五日

市民講演会

講師 岩井半四郎

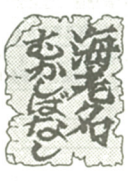
「私の歩んだ歌舞伎あれこれ」



▷とき・ところ=3月12日(土)午後2時~4時、市文化会館ホール ▷入場料=無料 ▷人員=1,100人先着順 ▷申し込み=電話またはハガキで市立中央公民館(〒243 上郷476-2 ☎32・3231)。住所・氏名・電話番号を明示

募集

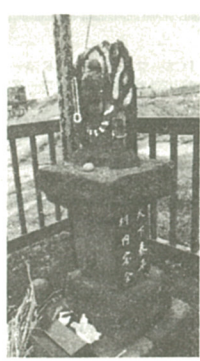
市では、市政・広報・消費生活の名モーターの募集をしています。いずれも依頼期間は四月から来年三月まで、申し込み締め切りは三月二十二日まで。ハガキモーター▽応募資格=市内在住の二十



大山道を訪ねて

その6

道しるべに導かれながら南へ進むと、本郷地区の小さな「本宿」と「居合」の境に延命地蔵尊が祀られています。毎年三月二十四日の命日には、本宿と居合町内の子供たちやお宿りが茶菓子などの入った重箱を持って集まり、坊さんの音頭に合わせて大きな歌謡隊はつらつら「ナムアミナツツ、ナムアミナツツ」と歌いながら供養をする。その後、お茶を飲みながら持ち寄った茶菓子を食べたりは世間話をしたりして楽しい時を過ごします。



相模川の土手にある不動塚

に公民館、右側には昭和年間につ造られた馬車道を過ぎると左側に小さい男女の神様が交互に手をとり合っている道祖神があります。やさしい顔が平和そのものように感じられます。道は右に大きくカーブして「おひり山」(お栗山)の下を通り抜け、広い水田地帯へ出ます。このおひり山は、本郷神

社に合祀(ごじ)されている聖宮(ひじりく)があった所と言われています。この道を西へ進むと左側の小さい排水溝のそばにわたしたちの道祖神があります。これが本郷と門沢橋との境になります。門沢橋に入ったら真っすぐに西に向かいます。広い道路を横切ると国鉄相模線の踏切りに出ます。現在、相模線は茅ヶ崎から本郷までディーゼル車が走っています。戦前は相模川の砂利を運ぶのが主な役割でしたが、戦争が進むにつれて国鉄が買い取り、貨客両用で使用されるようになりました。広い耕地の近くをのどかに走るディーゼルカーは絵本のような楽しさがあります。踏切を越えると永池川の大橋を渡ります。この川は園分の方からの排水路を